

ホース収納箱からホースバッグを取り出し、消火栓に接続。
ホース延長に慣れていなくても、火元に向かって進行する事で
ホース延長が可能。すぐに消火活動に入れます。

受注生産品

※ご注文をいただいておりますから製造いたします。
※詳細はお問い合わせください。

**40mmホース2本を
コンパクトに収納できます。**

受注生産品

※ご注文をいただいておりますから製造いたします。
※詳細はお問い合わせください。



格納箱用ホースバッグ 令和2年度より販売開始

- 外寸:約W54cm×D17cm×H28cm
- 主な仕様:20m消防ホース(40mm)を2本並列に仕切られ、収納することができます。
- 側面:取手付、管を収納できるマジックバンド付。
- ショルダーベルト:耐薬性素材PPベルト、ネームタグホルダー付
- 色:青色 ■素材:ターポリン/ポリエステル/ナイロン/反射材

※ホースなどは、付属されておりません。
商品番号 003-164-129 《定価20,000円》



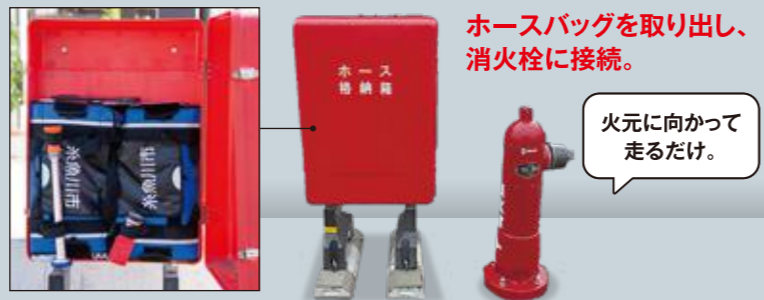
ホース収納箱 開発中商品

今までのホース収納箱セット内容との違い

①今までは狭小巻きや二重巻きで収納。



②格納箱用ホースバッグに収納した状態で収納。



**格納箱用
ホースバッグを使えば
一般の方でも簡単に
ホース延長が可能!!**



**FS・JAPAN
レポート**

**糸魚川市大規模火災を教訓に作られたホースバッグ
消防と市民と一緒に消火をする新しい戦術**

画像提供:糸魚川市消防本部



2016年12月 糸魚川市大規模火災



防災フェアで大人から子供まで放水訓練



2018年10月20日
初期消火資機材引き渡し式

糸魚川市大規模火災
2016年12月22日10時20分頃に発生、焼損棟数147棟(全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟)、焼損床面積は30,213.45㎡にも及び、鎮火までに約30時間続いた大規模火災であった。

糸魚川市と糸魚川市消防本部は、この大規模火災を踏まえ、「危険性が高い地域の確認・指定と火災防衛計画の策定」・「応援体制」・「消防水利」・「小規模飲食店への消火器設置の義務化」・「連動型住宅用火災警報器」・「消防団員の安全管理の再認識」などの対策を実施。更に、地震火災や大規模火災に備えて、火災発生時の危険性の高い地域を住民に周知し、当該地域の住民や自主防災組織が、消防機関と連携の下、自身の安全が確保できる範囲内で行う延焼防止、飛び火警戒、早期通報、避難行動要支援者への対応を含め、実践的な訓練を行うておく必要があると判断し、自主防災組織と消火設備の強化を図った。

自主防災組織の強化として消火栓とホース収納箱を配置



自主防災組織の強化として、消火栓とホース収納箱(ホースバッグ2個(40ミリホース対応ホースバッグ/延長用、放水用、消火栓ハンドル、写真付き取扱説明書)を住民の皆様と話し合いながら町中に設置、更に消火栓へのホース接続・延長、放水の訓練を消防防災フェアなどの際に定期的に実施して、消火活動の流れを市民の皆様が理解していただき、火災発生時には、安全を確保したうえで、消防が到着するまでの初期消火を手伝ってもらった。

**この方々を中心に作り上げました!
消防と市民と一緒に消火する戦術**



全国に広げたい思い
糸魚川市大規模火災のような災害は、いつどこで発生してもおかしくありません。糸魚川市消防本部では、この流れを少しでも全国に広め、市民と共に初期消火体制の充実強化を図って行きたいという思いをお話してくださいました。

市民の防災意識を高める防災フェア

